

第10回北和会ソフトボール大会 ロックフィールダース準優勝への軌跡



◇いよいよ開幕！北和会ソフトボール大会

5月17日土曜日、北和会大会当日は天候にも恵まれ、絶好のソフトボール日和となりました。ロックフィールダースの初戦は7時45分プレイボール。しかし、早朝にも関わらず多くの方々が応援に駆け付けてくださいました。大声援を背中に受けながら、ロックフィールダースの優勝を目指した戦いがいよいよ始まります。

◆第1試合◆

ロックフィールダース 14-2 炭平コーポレーション

開会式直後の第1試合。対戦相手は過去にこの大会で優勝経験もある炭平コーポレーションチーム。優勝を目指すロックフィールダースにとっても、厳しい戦いが予想された。試合は先発の石巻選手(管理本部)が初回到に2点を失ってしまう。チームの課題である立ち上がりでの失点となったが、その裏のフィールダースの攻撃で、頼れる4番・木藤選手(松本営業)の逆転3ランホームランが飛び出し、すぐさま試合をひっくり返すことに成功する。伊藤選手(松本営業)、中澤選手(松本工務部)の二遊間コンビの好守もあり、2回表の炭平コーポレーションチームの攻撃を0点に抑えると、相澤選手(長野営業)のタイムリー2ベースで点差を広げ、木藤選手の2打席連続となる3ランホームラン、さらに本間選手(松本営業)が満塁ホームランを放つなど、この回一挙に11点を奪う猛攻を見せ、まずは初戦勝利となった。

OPick Up Player



◆2打席連発！主砲・木藤選手



◆満塁弾！恐怖の8番・本間選手

OPick Up Player



◆共に3安打の長野工務部コンビ！高橋選手(左)・西澤選手(右)



◆反撃の口火は松本コンビ！大場選手(左)・中澤選手(右)

◆第2試合◆

ロックフィールダース 11-6 北野オールスターズ

第2試合は北野建設様の土木部門のチームである北野オールスターズとの対戦となった。第1試合に続き、この試合も前半戦で4点を先行される苦しい立ち上がりとなったフィールダース。しかし、2回裏に中澤選手の3ベースを足掛かりに高橋選手(長野工務部)のタイムリー3ベース、西澤選手(長野工務部)のタイムリーで2点を返すと、3回裏、大場選手(松本営業)の2ベースからチャンスを作り、中澤選手のタイムリーと西澤選手の2点タイムリーで逆転に成功する。4回表に1点差に迫られるが、その裏、伊藤選手のタイムリー、高橋選手のタイムリー2ベース、西澤選手の3打席連続タイムリーなどで北野オールスターズを突き離し、逆転勝ちで第3試合にコマを進めた。

ここまで2試合を戦ってきた中で、目を引くのが内外野ともに素晴らしい守備を見せている点だろう。守備の安定感がピッチャーにもいい影響を与え、攻撃のリズムもより良くなっていっているように感じる。このままの勢いで、優勝まで勝ち上がっていきたいところだ。

◆第3試合◆

ロックフィールダース 20-0 アサヒエージェンシー

第3試合は、ロックフィールダースのユニフォーム作成の際にお世話になったアサヒエージェンシーチームとの対戦となった。先発バッテリーは高野キャプテン(長野営業)、上原監督(会場設備)のフィールダースが誇るオーバ100バッテリー。貫禄の投球で初回を0点に抑えると、打撃でもタイムリーを放つ活躍でチームを盛り上げる。ベテラン二人に引っ張られるように、大場選手の先制タイムリーを皮切りにして1回の裏に一挙10点を奪うと、フィールダース打線の勢いは止まらず、2回にも代打・今井選手(松本工事部)の満塁ホームラン、関選手(長野工事部)のタイムリー2ベースなど若手の活躍でまたしても10点を奪い、フィールダースはいよいよ準決勝へと進出した。

連戦が続いているが、逆に選手達の動きはどんどん良くなってきているように思う。正念場の準決勝、必ず勝つ!と選手達も気合十分だ。

○Pick Up Player



◆俺たちを忘れるな! 関選手(左)・今井選手(右)



◆ベテランの力まだまだ健在! 上原監督(左)・高野キャプテン(右)

○Pick Up Player



◆鮮やかな先制攻撃! 相澤選手(左)・伊藤選手(右)



◆力投する石巻選手(左)と好リリーフの高野キャプテン(右)

◆準決勝◆

ロックフィールダース 11-6 高見澤

準決勝の相手は、やはり大会優勝経験のある高見澤チーム。この日3試合目の先発となる石巻選手が初回到に2アウト満塁のピンチを背負うが、レフトへの大飛球を木藤選手が長躯ランニングキャッチのファインプレーでチームを救う。このプレーで盛り上がったフィールダース打線は、1番相澤選手から伊藤選手、大場選手、木藤選手の4連続ヒットで3点を先制すると、中澤選手の犠牲フライ、石巻選手のタイムリーなどで5点のリードを奪う。守りの面でも初回の木藤選手に続き、セカンドの伊藤選手、サードの高橋選手らがファインプレーを連発し、石巻選手を盛り立てる。3回裏にも本間選手、相澤選手、伊藤選手のタイムリーなどで6点を奪ったフィールダース。このまま逃げ切れるか、と思われた4回、石巻選手が突如制球を乱して猛反撃にあい、5点を失ってしまう。尚もピンチが続くが、ここでベテラン高野キャプテンがリリーフ。1点を失うものの後続を断ち、ロックフィールダースはいよいよ決勝戦、北和会大会3連覇中の本久チームと激突することとなった。

~BREAK TIME~

北和会大会恒例のバーベキューで英気を養い、決勝戦へと臨みます。



◆決勝戦◆

ロックフィールダーズ 8-13 本久

決勝戦の相手は、大会3連覇中の本久チーム。今大会も前評判通りの強さを見せ、準決勝までの4試合でわずか2失点の固い守備と、4試合連続2ケタ得点の強力打線で決勝まで勝ち上がってきた。4月の練習試合では本久チームに敗れたフィールダーズ。リベンジと悲願の優勝を目指し、14時5分、ついに決勝戦が始まった。

この日初めて先攻となったロックフィールダーズは、切り込み隊長・相澤選手がチームを勢いづける先頭打者ランニングホームランを放つなど初回到に2点を先制。フィールダーズの先発は準決勝で見事なリリーフの高野キャプテン。上原監督とのコンビネーションもよく、1回の裏を0点に抑える好投を見せる。2回の裏に3点を奪われて逆転を許すが、直後の3回表に中澤選手、高橋選手がチャンスをつくり、上原監督、高野キャプテンの連続タイムリーで再びリードを奪うことに成功する。ここから試合はシーソーゲームの様相を見せ、3回裏にまたしても逆転を許したフィールダーズは4回表、2アウトから4番木藤選手の2ベースでチャンスメイクをすると、続く中澤選手が同点タイムリー、さらに高橋選手が勝ち越し2ランホームランを放って再々逆転！しかしその裏、リリーフした大場選手が本久チームの4番バッターに痛恨の逆転ホームランを打たれ、フィールダーズは惜しくも敗戦。涙の準優勝となった。

北和会大会優勝を目指して結成されたフィールダーズ。試合を重ねるにつれてチームワークもよくなり、全員が一丸となって戦っていた姿は、応援してくださった方々にも感動を与えられたのではないのでしょうか。準優勝という結果でしたが、選手一同、この悔しさを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思いますので、皆様よろしくお願ひ致します。

OPick Up Player



◆激走！先頭打者ランニングホームランの相澤選手



◆投打にチームを引っ張るオーバー100バッテリー！！



◆起死回生の逆転打！中澤選手(左)・高橋選手(右)



◆最後を任された大場選手！ナイスピッチング！



皆さん、熱い応援ありがとうございました！！

☆球場風景☆



◆円陣を組んで攻撃開始！！



◆殊勲の選手を迎えるチームメイト



◆好守の内野陣とハイタッチ



◆社長、副社長を始め、大勢の方々が応援に駆け付けてくださいました。ありがとうございました！！



特別企画 ～第10回北和会ソフトボール大会準優勝によせて～

☆岩野彰社長 ～選手と応援してくれた方に感謝！～

目標としていた「北和会ソフトボール大会」で準優勝。おめでとう。「この一年、何が有ったんだ」「素晴らしいチームだね」様々な会員の方から驚きと賞賛の言葉を投げかけられました。出場した選手は勿論、控えに廻った選手すべてが爽やかに輝いていました。そして、応援した方々も素敵な声援をしてくださいました。私は、5月17日の5試合を心から誇らしい思いで観戦をしました。これからも、勝っても奢らず、負けても悔やまず、観戦する人々に感動を与えるプレーをして下さい。「思い入れが強い過ぎ？」かも知れませんが、私は、心底嬉しいのです。ありがとう！ロックフィールダース！！

☆上原監督

打たれた瞬間、抜けたと思った打球を素晴らしいプレーでアウトにする。打っては凡打でも全力疾走、速い脚が？より速く見える。素晴らしい試合でした。そしてそのプレーをより盛り上げてくださった応援団の皆さん、ありがとうございました。来年は、優勝です。

☆高野キャプテン

4.5月の練習試合でメンバー同士のコミュニケーションが取れ、チームプレーが出来たことが今回の準優勝につながったと思います。しかし、選手からは、「負けて本当に悔しい」という声が上がっていました。この悔しさを忘れずに、来年は「優勝」を合言葉に頑張りましょう！！

北和会ソフトボール大会に御協力いただきました！

■明治安田生命 中島所長様、斉藤様

■日本生命 川崎部長様、清住様

ありがとうございました！今後ともよろしくお願ひします！

